

地歴公民 (日史・世史・地理・政経・倫理) 北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文】

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式

客観式 14 個、記述式 21 個、論述式 14 題 (1 行×1、2 行×3、3 行×4、4 行×3、5 行×3、計 46 行)

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

昨年に比べ、客観式が 9 個、記述式が 2 個減少したものの、論述式が 3 題 (16 行) 増加したため、全体としての分量は昨年より増加した。そのため、試験時間内に全てを終わらせることが難しく、全体的な難易度もやや難化した。

出題の特徴や昨年との変更点

統計や地図を用いた出題は例年通りであり、1999 年度以降毎年出題されていて、昨年度は出題されなかった地形図に関連する問題が今年復活した。また、2021 年度の入試改革から毎年出題されている「正しい (または適当でない) ものをすべて選べ」という多答の問題が、今年も見られた。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	客観式 記述式 論述式	地震・津波と防災	問 1 a は容易だが、b～d を正確に答えるのは難しい。問 2 と問 4 の論述問題は頻出の内容であり、高得点を目指したい。問 5 の「公的支援の観点から」という部分は、何を書いたらよいか迷う。	標準
2	客観式 記述式 論述式	食料と農業	問 1 インドの食料状況を細かく理解していたかどうかで差がついた。問 4 は、問 3 の判定をもとにして考えるとよい。問 5 は判定問題・論述問題ともに非常に難しい。	やや難
3	客観式 記述式 論述式	地球環境問題	問 1 B は何を入れたらよいか迷う。問 3 ハ) のフロンは、温室効果ガスの説明がなく問われており戸惑う。問 5 の記述問題と論述問題は満点を目指したい。	標準
4	記述式 論述式	イギリス	問 1 a・b でウェールズを答えられたかどうかで差がついた。問 2 の論述問題と、問 4 の記述問題と論述問題は頻出内容であり、満点が欲しい。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 客観式や記述式がどれだけできるかが得点差のカギになると思われるので、教科書や共通テスト(センター試験)の過去問などで基本的知識を確実に習得しておくこと。
2. 50～100 字程度の論述が多く出題されるので、過去問などを利用して各テーマをコンパクトにまとめられる論述力を身につけておこう。
3. 統計や地名に関する問題が頻出しており、細かな統計や地名を押さえるとともに、統計の持つ意味を理解する学習が求められる。
4. 地図を利用した問題が多く、図を描かせる問題もみられるので、白地図を使った学習を行うとよい。また、地形図や地図に関する出題も多いので、実際に地形図や地図を利用して慣れるようにしよう。